

認定特定非営利活動法人 日本レスキュー協会について



認定NPO法人日本レスキュー協会は、阪神淡路大震災をきっかけに設立され、「犬とともに社会に貢献する」の理念のもと、災害救助犬やセラピードッグの育成・派遣、訓練者養成、動物の保護・愛護活動などをされている団体です。

災害救助犬とセラピードッグについて以下に紹介します。



日本レスキュー協会 佐賀県支部 モアワン 「MORE WAN」

施設の利用について

秋以降にはドッグランや犬のしつけ教室など一般の人の憩いの場としての開放が予定されています。

現在多くの人から「犬を連れて遊びに行きたい」という声をいただいています。が、外構工事が終わるまで、しばらくお待ちください。



提供：認定NPO法人日本レスキュー協会

災害救助犬 | Search and Rescue Dog 優れた嗅覚で救助者を検索

「災害救助犬」とは、自然災害によってがれきや土砂の下敷きになった行方不明者を発見するために訓練された犬のことです。犬の嗅覚は人間の1000万倍以上優れていると言われ、災害救助犬はその優れた嗅覚を活かし、人には目視できない場所、または広範囲において不特定多数の人を比較的短時間で捜索することができます。

災害救助犬は、被災し発見されずに亡くなってしまふ人たちを一人でも多く救うため、人命捜索の一つの手段として大きな役割を担っています。



提供：認定NPO法人日本レスキュー協会

セラピードッグ | Therapy Dog 癒しで人の心と体に寄り添う

「セラピードッグ」とは、ふれあいや交流を通じて、高齢者をはじめ、障がいを持つ人や病気の治療を必要とする人の心と体のケアを補助する役割を担うため、特別な訓練を受けた犬のことです。

セラピードッグとふれあうことで、記憶を取り戻したり、動かなかった手足が動くようになるなどの効果があると言われています。

また、緊張感の緩和、不安やストレスの軽減、そして闘病意欲の向上などが見られます。